

教育課題最前線にある小笠原

○未来を担う人材育成に携わる

義務教育終了時に人生の選択をする児童・生徒。自らの人生を切り拓き、小笠原村を持続可能な社会(地域)とする担い手となることを求められています。

小笠原村の教師は、“いま、まさに”求められている資質・能力の育成に携わります。国・都・村の施策に直結した教育活動に従事します。

変革の中での実践

○小中一貫教育の研究・充実・推進

令和7年度以降の小中一貫校の開設に向けた小中一貫カリキュラムの作成に従事

○兼務発令による異校種経験

日々の実践から9年間の学びの連続性を意識した実践的指導力を高める

東京の最『先』端 小笠原村の教師になる

充実した研修等支援体制

○東京都教職員研修センターのバックアップ

希望者は、特別支援教育や各教科等のテーマごとに、都指導主事の授業参観及び指導・助言をもらえる

○島しょ地区合同若手教員研修

初任者から3年次までの横のつながりを作る、島しょ地区若手教員交流研修を実施

刺激し合える同僚

○同世代が多い職場

授業や対応の悩みを共有しやすい
経験や職層が近く、切磋琢磨できる

○島しょ地区分掌主任交流会

困ったことは、横の繋がりで解決できる

ここにしかない教育資源

○自然・歴史・人材・風土等多様性のある文化
豊かな資源を活用した「小笠原学習」の実践